



IBM System Storage DS3500 および EXP3500 ラック取り付けとクイック・スタート・ガイド

お願い：本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

このラック取り付けとクイック・スタート・ガイドでは、IBM® System Storage® DS3500 ストレージ・サブシステムおよび IBM System Storage EXP3500 ストレージ・エンクロージャーの取り付けについての基本手順を説明します。この文書の情報は、DS3512、DS3524 ストレージ・サブシステム、および EXP3512、EXP3524 ストレージ・エンクロージャーに関連しています。

DS3500 ストレージ・サブシステムおよび EXP3500 ストレージ・エンクロージャーのケーブル接続と構成については詳しくは、ハードウェアに付属の「*IBM System Storage DS3500 および EXP3500* 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド」を参照してください。

DS3500 およびその他の IBM System Storage 製品についての情報を習得するには、<http://ibmdsseriestraining.com/> を参照してください。

DS3000 ストレージ・サブシステムおよびストレージ・エンクロージャーのすべてを含む IBM System Storage ディスク・ストレージ・システムの最新情報については、<http://www.ibm.com/systems/support/storage/disk> を参照してください。

安全上の注意については、*Documentation* CD に収録されている、複数の言語で書かれた「*IBM Safety Information*」資料を参照してください。

ラック取り付けのガイドライン

安全およびケーブル接続に関する情報については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。ストレージ・サブシステムをラック・キャビネットに取り付ける前に、以下のガイドラインをお読みください。

- 重さが 18 kg 以上の装置をラック・キャビネットに取り付ける場合は 2 人以上で行ってください。
- 室温が 35°C 以下であることを確認してください。
- 通気口をふさがないでください。通常 15 cm のスペースがあれば空気が正しく流れます。
- ラック・キャビネット内に取り付けたストレージ・サブシステムの上または下のスペースを空けたままにしないでください。ストレージ・サブシステム・コンポーネントへの損傷を防ぐために、必ずフィルター・パネルを取り付けてオープン・スペースを覆い、正しい空気循環を確保します。
- ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーは、必ず穴のあいたドアが付いたラック・キャビネットに取り付けてください。
- 装置は、ラック・キャビネットの下部から順に上の方に向かって取り付けるように計画してください。
- 最も重い装置をラック・キャビネットの下部に取り付けます。
- ラック・キャビネットから同時に複数の装置を引き出さないでください。
- 取り付け作業が容易になるように、ラック・ドアおよびサイド・パネルは取り外してください。
- ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーは、正しく接地されたコンセントに接続してください。
- ラック・キャビネットに複数の装置を搭載する場合は、電源容量の過負荷に注意してください。

- ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーは、ラック・キャビネットの縦方向に 2 U のスペースを必要とします。



装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥18 kg (39.7 lb)



≥32 kg (70.5 lb)



≥55 kg (121.2 lb)

NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE のための電源およびケーブル接続に関する情報

以下のコメントは、NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE に準拠していると指定された IBM ストレージ・デバイスに適用されます。

装置は、以下の環境での取り付けに適しています。

- ネットワーク電気通信設備
- NEC (NFPA 70 National Electrical Code) が適用される場所

注意:

屋内での配線 (ケーブル接続) には、ストレージ・デバイスと併用する場合、両端をシールドし、接地する必要があります。

注:

- この機器の屋内ポートは、屋内、または屋外に露出していない配線またはケーブル接続にのみ適合しています。この機器の屋内ポートは、OSP (屋外施設) またはその配線に接続するインターフェースに、金属的に接続してはいけません。これらのインターフェースは、屋内のインターフェース (GR-1089-CORE、発行 5、または最新の改訂版に記載されている、タイプ 2 またはタイプ 4 のポート) としてのみ使用されるように設計されており、露出 OSP 配線から分離する必要があります。基本的保護材を追加しても、OSP 配線にこれらのインターフェースを金属的に接続するには、十分な保護とはなりません。
- AC 電源のシステムは、外部サージ保護機器 (SPD) を使用する必要はありません。
- DC 電源システムは、分離 DC 帰還 (DC-I) 設計を採用しています。DC バッテリー帰還端子は、シャーシまたはフレーム・アースに接続してはなりません。
- ストレージ・デバイス (DC 電源) は、GR-1089-CORE、発行 5、または最新の改訂版に記載されている共通ボンディング・ネットワーク (つまり、メッシュ・ネットワーク) にインストールされる設計になっています。

品目リスト

以下の品目リストは、DS3500 ストレージ・サブシステムまたは EXP3500 ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに取り付ける際に必要な品目を示しています。欠落または損傷している品目がある場合は、購入先にお問い合わせください。

注:

1. DS3500 または EXP3500 のオーダーによっては、以下のチェックリストに記載されていないその他の付属品が、配送ボックスに含まれている場合があります。追加の部品については、ハードウェアに付属の「*IBM System Storage DS3500 および EXP3500 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」に記載されている品目チェックリストを確認し、そのチェックリストと以下の情報を組み合わせて使用してください。
2. 同梱のホスト・インターフェース・ケーブル、イーサネット・ケーブル、ファイバー・チャネル・シグナル・ケーブル、および iSCSI シグナル・ケーブルは、ハードウェアによって異なるため、以下のリストには含まれていません。

DS3500 または EXP3500 を取り出したら、各ストレージ・サブシステムまたはストレージ拡張コントローラーに以下の品目があることを確認してください。

- ハード・ディスクまたはブランク・トレイ (12 個または 24 個) (ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーには最大 24 個のドライブが付属している場合があります)
- RAID コントローラー (DS3500 のみ最大 2 つ)
- 環境サービス・モジュール (ESM) (EXP3500 のみ 1 つ)
- AC 電源モデル:
 - AC 電源機構とファン・ユニット (2 つ)
 - ラック・ジャンパー回線コード (2 つ)
- DC 電源モデル:
 - DC 電源機構とファン・ユニット (2 つ)
 - DC ジャンパー・ケーブル (2 つ)
- 以下を含む、ラック・マウント用ハードウェア・キット (1 つ)
 - サポート・レール (2 本) (左右のアセンブリー)
 - M5 黒 6 角マイナスねじ (8 本)
 - M5 ワッシャー (6 つ)
 - 小さいスペーサー (8) (出荷時にレールごとに 4 個取り付け済み)
 - 大きいスペーサー (8)
 - M4 なべ頭ねじ (2)

重要: DS3500 および EXP3500 の AC 電源モデルには、地域に固有の AC 電源コードは付属していません。ご使用の地域に適した、IBM- 認定の電源コードを入手する必要があります。DS3500 および EXP3500 の DC 電源モデルには、-48V の DC 電源接続に必要な 30A 定格切断機 (回路ブレーカー) は付属していません。詳しくは、「*IBM System Storage DS3500 および EXP3500 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」を参照してください。

ツール

DS3500 または EXP3500 を取り付ける前に、設置場所にインターネット接続を用意し、以下のツールを備えておく必要があります。

- ストレージ・サブシステムとそのコンポーネントを載せておくカート
- 5 mm のマイナス・ドライバー
- 帯電防止保護

注: 2 番のプラス・ドライバーと 8 mm レンチはオプションです。

取り付けの概要

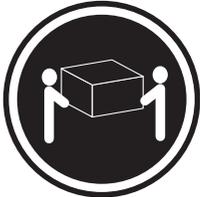
DS3500 または EXP3500 の取り付けでは以下の手順が必要となります。

1. 『ストレージ・サブシステムの梱包からの取り出し』
2. 6 ページの『サポート・レールの取り付け』
3. 7 ページの『ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーのコンポーネントの取り外し』
4. 11 ページの『ストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャーのラック・キャビネットへの取り付け』
5. 14 ページの『電源を入れる - AC モデル』
6. 18 ページの『ソフトウェアのインストール』
7. 19 ページの『ストレージ・サブシステムのディスカバーとセットアップ』
8. 20 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の取得』
9. 20 ページの『ストレージ・サブシステム・ファームウェアの更新』
10. 20 ページの『ストレージ・サブシステムの構成』

ストレージ・サブシステムの梱包からの取り出し

安全に関する注記 4:



		
≥ 18 kg (39.7 lb)	≥ 32 kg (70.5 lb)	≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーを取り出すには、以下の手順を実行します。

1. もう 1 人の手を借りて、ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーを配送ボックスから取り出し、カート、テーブル、または一段高い面の上に置きます。
2. ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーを検査して、必要な部品がすべて揃っていることを確認します。ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーに含まれる部品については、3 ページの『品目リスト』のセクションを参照してください。
3. 右側と左側のサポート・レールおよび M5 ねじを取り出して、6 ページの『サポート・レールの取り付け』へ進みます。

サポート・レールの取り付け

注:

1. ストレージ・サブシステムに同梱のサポート・レールを、重量が適切に分散されるように、ラック・キャビネットの下の方に取り付けてください。
2. ストレージ・サブシステムを取り付ける場合は、そのストレージ・サブシステムの上下に、ストレージ・エンクロージャーを取り付ける余地を残しておいてください。
3. サポート・レールには、右側用と左側用を判別するために「R」および「L」のマークが付いています。

ラック・キャビネットに左右のサポート・レールを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. 左側のサポート・レールから作業を始めます。2 個のレール調節ねじを緩めます。この調節ねじは、サポート・レールを一定の長さで固定するために使用します。

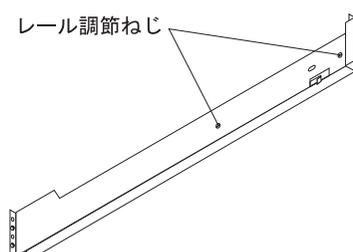


図1. レール調節ねじ

2. 左のサポート・レールの最前部を、前部ラック・キャビネット・サポート・フランジの内側に押しつけたまま、サポート・レールの後部を、後部ラック・キャビネット・サポート・フランジに接するまで延ばします。図2 に示すように、サポート・レール後部の調整スペーサーを、ラック・キャビネット後部の穴に滑り込ませます。

注: ラックに正方形の穴がある場合は、レールの前部と後部の小さいスペーサーを、レール・キットに付属のもっと大きなスペーサーと取り替えてください。

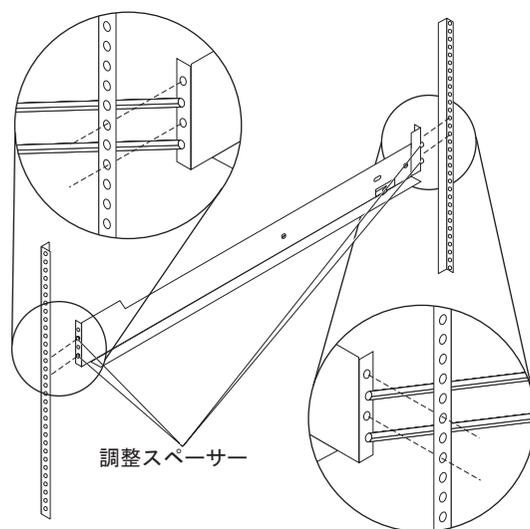


図2. ラックのサポート・レールの位置決め

3. 図3 に示すように、ラック・キャビネットの前面から、サポート・レールのフランジがラック・キャビネットのサポート・レール・アセンブリーの内側に位置した状態で、1 本の M5 ねじをレール・ブラケットの上部から 2 番目の穴に取り付けて、ドライバーで締めます。

注: M5 ねじをラック・マウント・フランジの正方形のホールに通して取り付ける場合は、必ずワッシャーを使用してください。

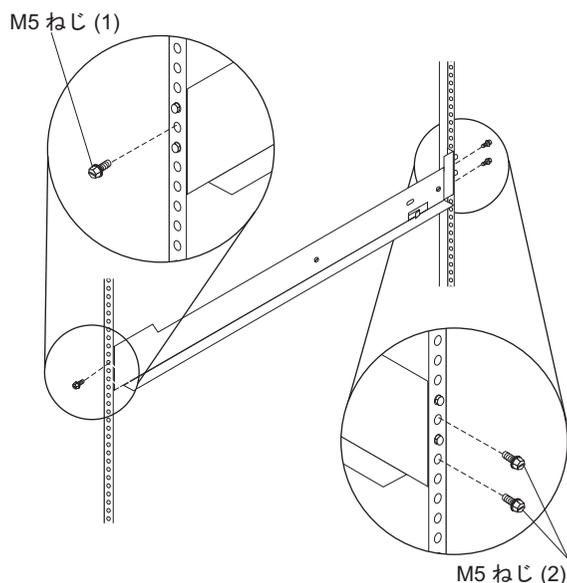


図3. ラックのサポート・レールの固定

4. ラック・キャビネットの背面から、2 本の M5 ねじをレール・ブラケットの下部の穴と上部から 2 番目の穴に取り付けて、ドライバーで締めます。

注: M5 ねじをラック・マウント・フランジの正方形のホールに通して取り付ける場合は、必ずワッシャーを使用してください。

5. 右側のサポート・レールについて、ステップ 2 (6 ページ) から 4 を繰り返します。

ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャのコンポーネントの取り外し

ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャを持ち上げる前に、コントローラーまたは ESM、ホット・スワップ・ドライブ、および電源機構とファン・ユニットを取り外します。これにより、DS3500 または EXP3500 を取り付ける際の重量が軽減されます。DS3500 および EXP3500 の後部の各コンポーネントは、ロッキング・ラッチ付きレバーによって所定の位置に保持されています。

コンポーネントを取り外すには、以下の手順を実行します。

注: DS3500 ストレージ・サブシステムおよび EXP3500 拡張エンクロージャは、同じ電源機構を使用するため、同様の取り外し手順が両方に必要です。

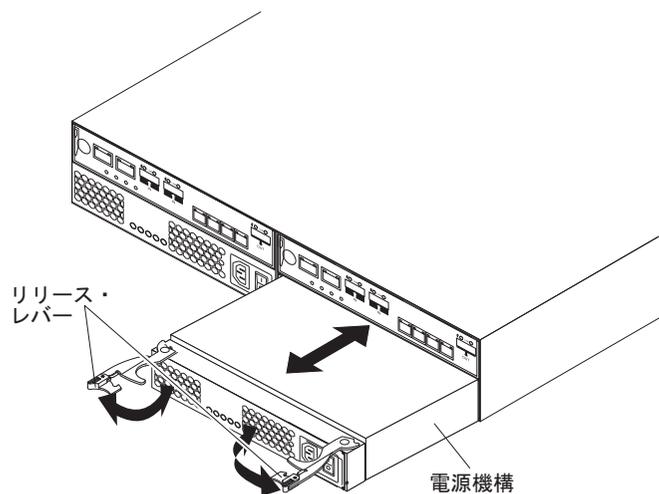


図4. DS3500 ストレージ・サブシステムまたは EXP3500 拡張エンクロージャーからの電源機構の取り外し

1. 次のようにして、電源機構を取り外します。
 - a. 図に示すように、リリース・タブを押し、リリース・レバーを開きます。電源機構はベイから約 0.6 cm だけ外に移動します。
 - b. 電源機構をベイから引き出し、除けておきます。

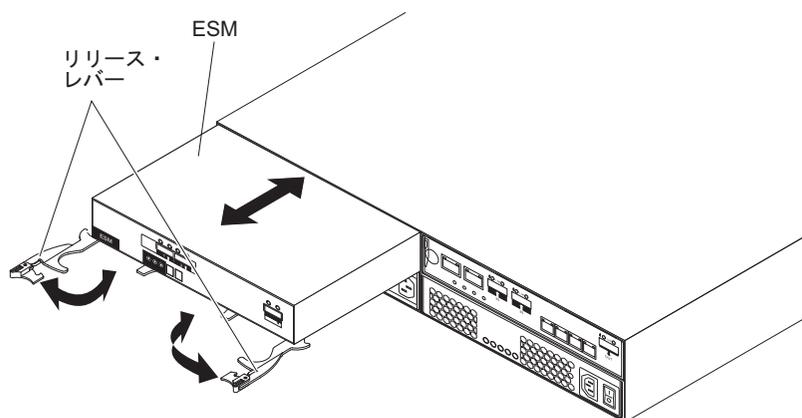


図5. EXP3512 または EXP3524 からの ESM の取り外し

2. EXP3512 または EXP3524 拡張エンクロージャーがある場合は、ESM を取り外します。
 - a. 2 つのリリース・レバーを開きます。ESM はベイから約 0.6 cm だけ外に移動します。
 - b. ESM をベイから引き出し、除けておきます。

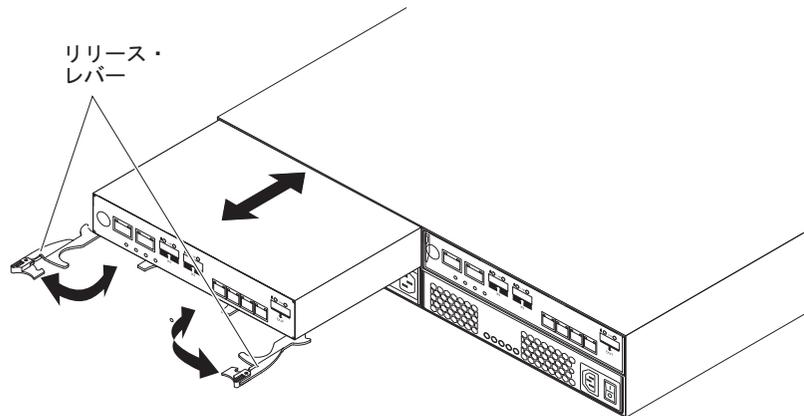


図6. DS3512 または DS3524 からのコントローラーの取り外し

3. DS3512 または DS3524 ストレージ・サブシステムがある場合は、次のようにコントローラー（または1つ以上のコントローラー）を取り外します。
 - a. 図に示すように、2つのリリース・レバーを開きます。コントローラーはベイから約0.6 cmだけ外に移動します。
 - b. コントローラーをベイから引き出し、除けておきます。

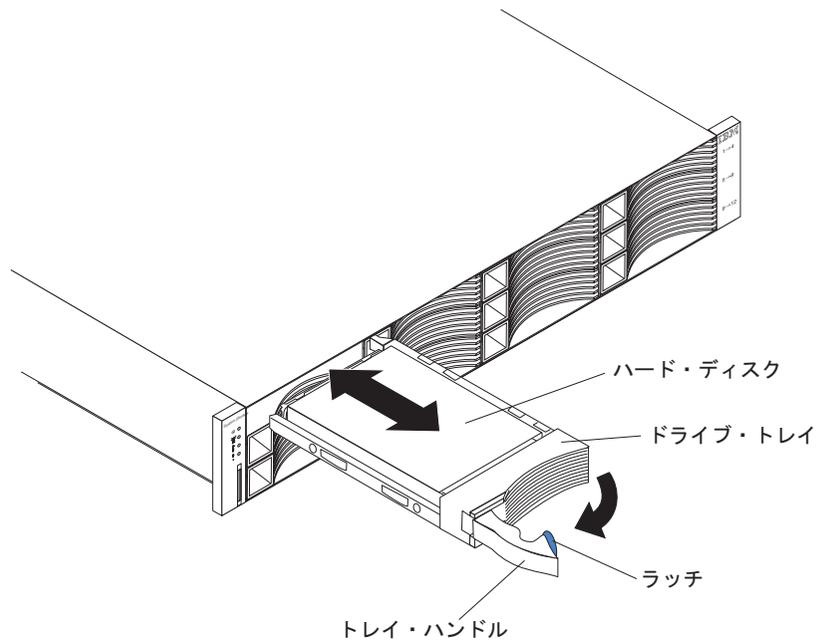


図7. DS3512 または EXP3512 からのハード・ディスクの取り外し

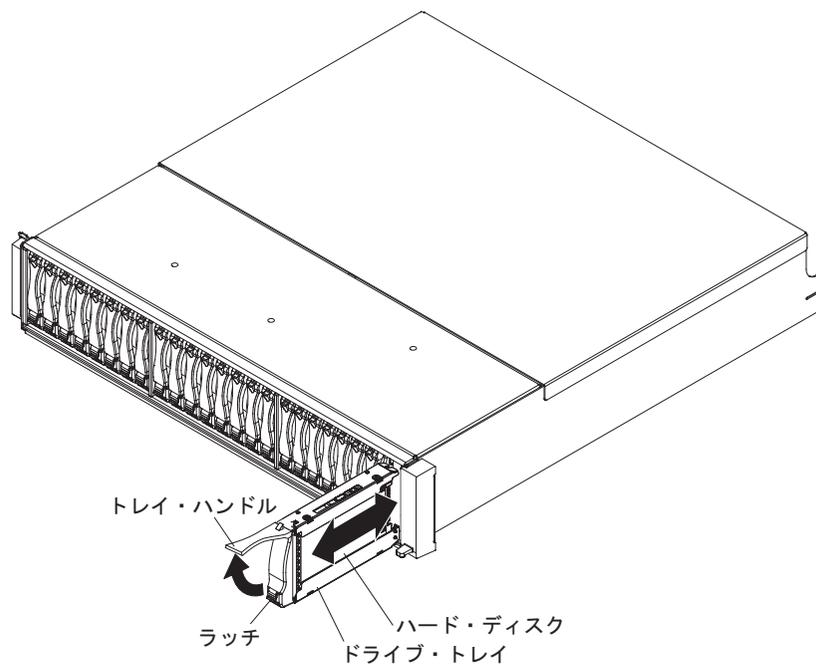


図8. DS3524 または EXP3524 からのハード・ディスクの取り外し

4. 次のようにして、ドライブを取り外します。
 - a. 元の順序で再取り付けができるように、ドライブにラベルを付けておきます。
 - b. トレイ・ハンドル下部の内側を押し、ドライブのラッチを解放します。
 - c. 閉じたラッチを開いた位置まで持ち上げます。ラッチは、開くとドライブの前面に対して 90° の角度になります。
 - d. ドライブをベイから引き出します。
 - e. 各ドライブについて、ステップ 4b から 4d を繰り返します。
5. コンポーネントの取り外し方法の詳細については、エンクロージャーに付属の「*IBM Systems Storage DS3500* および *EXP3500* 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド」を参照してください。

ストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャのラック・キャビネットへの取り付け

ストレージ・サブシステムを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. ストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャに付属の安全上の注意をお読みください。
2. DS3512 および EXP3512 については図9、DS3524 および EXP3524 については 12 ページの図 10 に示すように、ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャの後部をサポート・レールの上にスライドさせます。

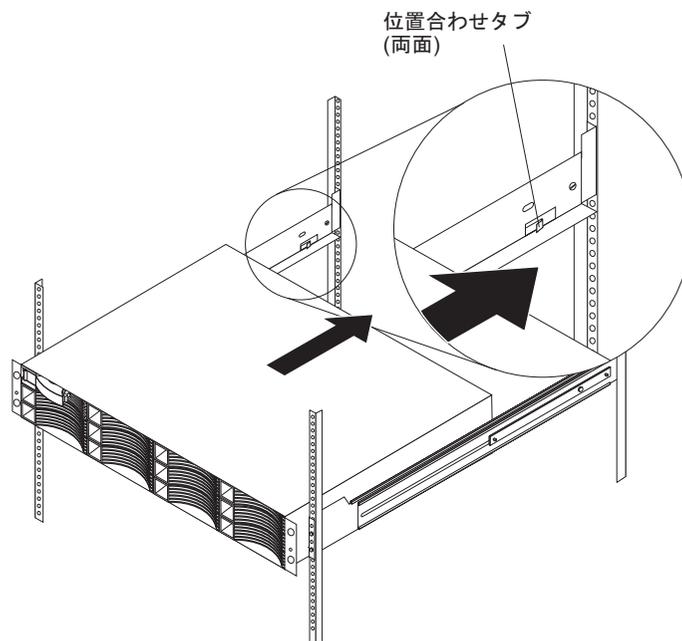


図9. ラックでの DS3512 または EXP3512 の位置決め

注: DS3524 および EXP3524 は、サポート・レール調整タブを使用しません。

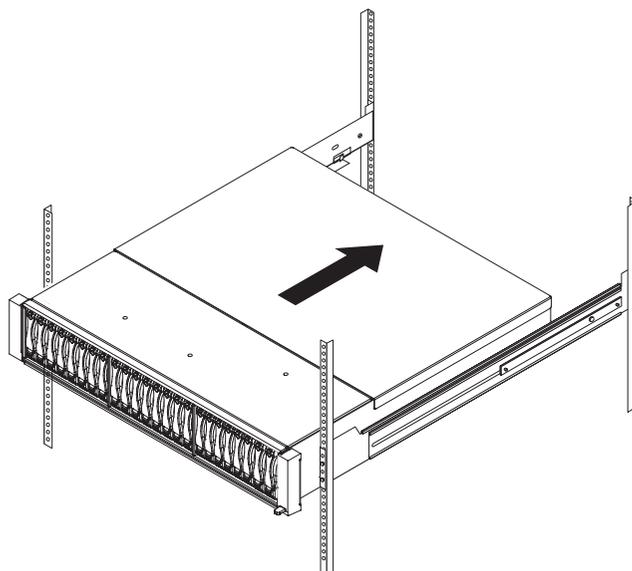


図 10. ラックでの DS3524 または EXP3524 の位置決め

3. ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャの両側にある前面マウント・ホールを、サポート・レールの前部にあるマウント・ホールに位置合わせします。
4. DS3512 または EXP3512 については図 11、DS3524 または EXP3524 については 13 ページの図 12 に示すように、ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャの前面の両側にあるサポート・ホールに M5 ねじ 1 本を取り付けて締めます (ワッシャーは不要)。

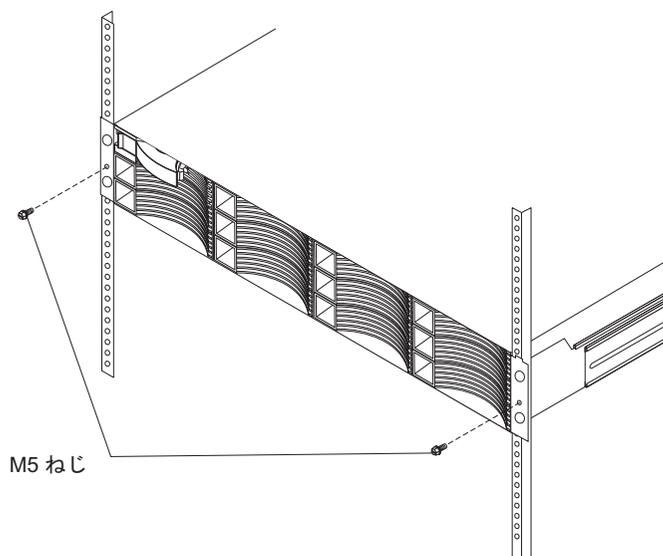


図 11. DS3512 または EXP3512 のラックへの固定

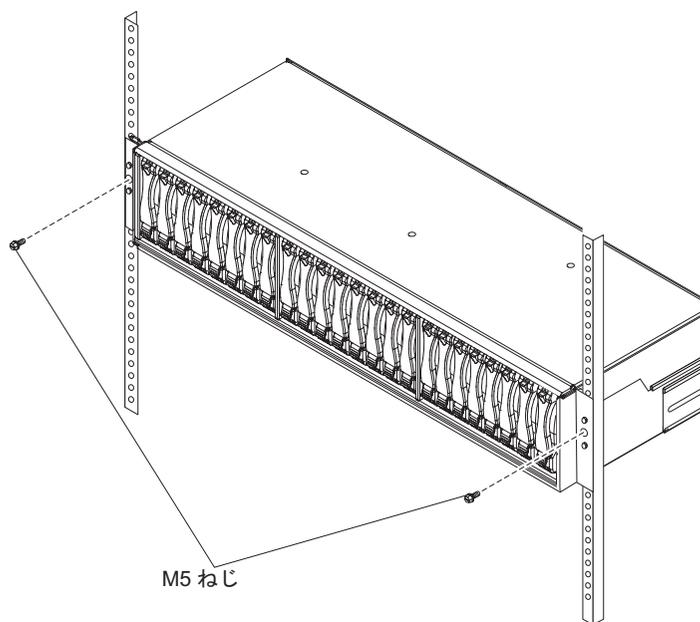


図 12. DS3524 または EXP3524 のラックへの固定

5. 2 本の M4 ねじを、サポート・レールの後部を通して、ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーの外側にあるスロット穴に取り付けて締めます。

6. 図 13 に示すように、ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーに左右のベゼルを取り付けます。ベゼルの上部のスロットをシャーシ・フランジ上のタブにはめ込んでから、所定の位置に収まるまでベゼルを下方に回転させます。ベゼルの内側の面がシャーシとぴったり重なることを確認します。

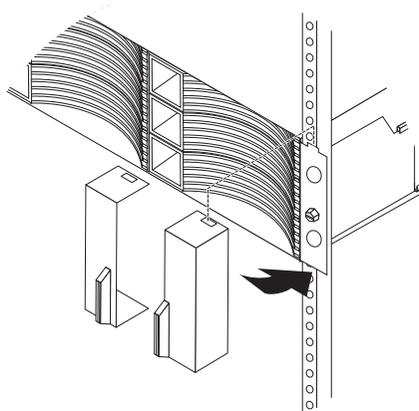


図 13. ベゼルの取り付け

7. 7 ページの『ストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーのコンポーネントの取り外し』で取り外したストレージ・サブシステムまたは拡張エンクロージャーのコンポーネントを取り付けます。

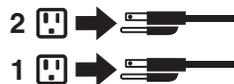
電源を入れる - AC モデル

安全に関する注記 5:



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



重要: 電源は、必ず以下の手順どおりの順序で入れてください。電源機構を 2 つ装備しているエンクロージャーの電源冗長度を設定するには、少なくとも 2 つの電力配分装置 (PDU) をラック・キャビネット内に設置してください。それぞれのエンクロージャーの電源を、別々の PDU に分けて接続します。さらに、その PDU を、回路が別々の外部電源コンセントに接続します。

ストレージ・サブシステムの AC 電源を入れるには、以下の手順を実行します。

1. 電源コードをストレージ・サブシステムの各電源機構に接続します。

2. 各電源コードのもう一方の端を電源コンセントに接続します。
3. スイッチの電源をオンにします (該当する場合)。
4. 接続されているすべてのストレージ・エンクロージャの両方の電源スイッチをオンにして、60 秒待ちます。
5. ストレージ・サブシステムの両方の電源スイッチをオンにします。

注: ストレージ・サブシステムの電源を切るには、前述の手順を逆に実行します。ストレージ・サブシステムの電源を切ってから、ストレージ・エンクロージャの電源を切ってください。

電源を入れる - DC モデル

安全に関する注記 29:



注意:

この装置は、DC 給電回路の接地済み導線をこの装置の接地導線に接続できるように設計されています。この接続を行う場合は、以下の条件がすべて満たされている必要があります。

- この装置は、DC 給電システムの接地電極導線に直接接続するか、あるいは DC 給電システムの接地電極導線が接続されている接地終端バーまたはバスからの接合ジャンパーに接続しなければなりません。
- この装置は、同じ DC 給電回路の接地導線とこの装置の接地導線との間に接続されている他の装置のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) になければなりません。また、この装置は、DC システムの接地点でなければなりません。DC システムにこれ以外の接地があってはなりません。
- DC 供給電源は、この装置と同じ敷地内になければなりません。
- DC 電源と接地導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機器または切断機器を設置してはなりません。

安全に関する注記 34:



注意:

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は訓練を受けたサービス技術員によりアクセスが制限された (つまり、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment の定義に適合している) 場所にも設置が許されます。
- 装置は正しく接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護で必要な回路ブレーカーの定格については、製品資料で仕様を参照してください。
- 銅線伝導体のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料で仕様を参照してください。
- 配線の端子ナットに必要なトルク値については、製品資料で仕様を参照してください。

ストレージ・サブシステムの DC 電源を入れるには、以下の手順を実行します。

1. ストレージ・サブシステムの DC 電源機構と、接続されたすべての ストレージ・エンクロージャの両方 で、電源オン/オフ・スイッチがオフの位置にあることを確認します。
2. DC ジャンパー・ケーブルを、ストレージ・サブシステムの各 DC 電源機構と、接続されたすべての ストレージ・エンクロージャに接続します。
 - a. 付属のストラップを使用して、DC 電源機構のケーブルをレールに結び、電源ケーブルに過度の張力がかからないようにします。
 - b. DC 電源ケーブルを電源機構に接続します。DC 電源機構のコネクター・ピンの位置については、図 14 および表 1 を参照してください。

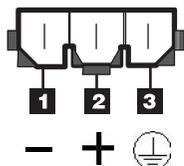


図 14. DC 電源コネクター - ピンの位置

表 1. DC 電源機構コネクター - ピンの説明

番号	機能	DC 電源ケーブル・ワイヤーの色
1	ピン 1: - 48 V DC	茶色
2	ピン 2: POS RTN	青色
3	ピン 3: GND	緑色/黄色

- c. DC 電源ケーブルの - 48V ワイヤー (茶色) を、認定を受けた 30 A 定格の切断機 (回路ブレーカー) に接続します。この切断機は、DS3500 ユニットの後部から容易にアクセスできる必要があります。

重要:

- 切断機 (回路ブレーカー) は、30 A 定格でなければなりません。
 - DS3500 または EXP3500 DC 電源コネクタと DC 給電部とのすべての配線で、10 AWG の銅線伝導体のワイヤーのみが使用されていることを確認します。
- d. 切断機から、確実に接地された safety extra low voltage (SELV) DC 給電部の -48V マークのある端子まで、配線を完了します。DC 電源ケーブルの POS RTN ワイヤ (青色) と接地ワイヤ (緑色/黄色) を、図 15 に示すように DC 給電部の POS RTN マークおよび GND マークの端子に接続します。

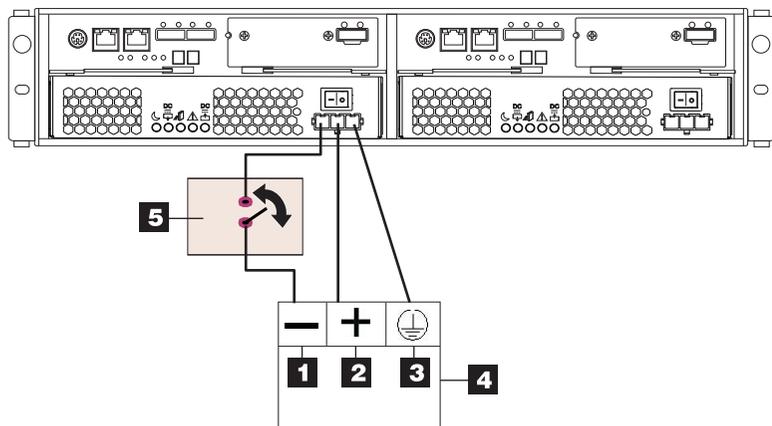


図 15. DS3500 から切断機と DC 給電部までの DC 配線

表 2. DC 給電部の配線の説明

番号	機能
1	ピン 1: - 48 V DC
2	ピン 2: POS RTN
3	ピン 3: GND
4	DC 給電部
5	切断機 (回路ブレーカー)

3. すべての DC ジャンパー・ケーブルの接続を終えたら、-48 V の DC SELV 給電部の電源をオンにします。
4. 接続されているすべてのストレージ・エンクロージャの両方の電源スイッチをオンにして、60 秒待ちます。
5. ストレージ・サブシステムの両方の電源スイッチをオンにします。

注: ストレージ・サブシステムの電源を切るには、前述の手順を逆に実行します。ストレージ・サブシステムの電源を切ってから、ストレージ・エンクロージャの電源を切ってください。最後に、-48V SELV 給電部に取り付けられた切断機の電源をオフにします。

ソフトウェアのインストール

ストレージ・サブシステムに関連するコンピューターには 2 つのタイプがあります。ホスト は、入出力 (I/O) をストレージ・サブシステム LUN に送信します。管理ステーション はストレージ・サブシステムを管理します。1 つのコンピューターは、ホスト、管理ステーション、またはその両方として機能できません。このセクションの説明を使用して、IBM System Storage DS ストレージ・マネージャー・ソフトウェアを管理ステーションまたはホストにインストールしてください。

注: ご使用のオペレーティング・システムに対応したストレージ・マネージャー・ソフトウェアの最新バージョンは、IBM Support Web サイトにあります。詳しくは、20 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の取得』を参照してください。ストレージ・サブシステムに付属の *DS Storage Manager* DVD のソフトウェア・バージョンは、最新バージョンではないことがあります。

ストレージ・マネージャーの管理ステーションへのインストール

ストレージ・マネージャー・ソフトウェアを管理ワークステーションにインストールするには、以下の手順を実行します。

1. インターネットにアクセスできる場合は、IBM Support Web サイトから最新バージョンのストレージ・マネージャー・ソフトウェアをダウンロードします (詳しくは 20 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の取得』を参照)。インターネットにアクセスできない場合は、*DS Storage Manager* DVD を管理ワークステーションに挿入し、ご使用のオペレーティング・システムに対応するディレクトリーを見つけます。

注: 管理ステーションが実行するオペレーティング・システムのタイプは、*DS Storage Manager* DVD のディレクトリーで見つけてください。詳しくは、*DS Storage Manager* DVD のオペレーティング・システムとデバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

2. *Storage Manager* 実行可能ファイルをダブルクリックします。 セットアップ・ウィザードの説明に従います。プロンプトが出たら次のオプションの 1 つを必ず選択してください。
 - コンピューターを管理ステーションとしてのみ使用する場合は、「**Management Station (管理ステーション)**」をクリックします。
 - コンピューターを管理ステーションおよびホストとして使用する場合は、「**Typical (full installation) (標準 (フルインストール))**」をクリックします。
3. このコンピューターをモニターとしてのみ指定する場合は、プロンプトが出たら「**Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始する)**」を選択します。

注: 追加のコンピューターでストレージ・サブシステムを管理する場合、追加コンピューターをセットアップするときに、「**Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始する)**」をクリックしないでください。代わりに、プロンプトが出たら、「**Do Not Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始しない)**」をクリックします。そうしないと、ストレージ・サブシステムに問題が生じた場合に、複数のアラート通知が送信されます。

ソフトウェアのホストへのインストール

ソフトウェアをホストにインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 現行の HBA (ホスト・バス・アダプター) について、HBA BIOS とデバイス・ドライバーのバージョンを確認します。必要であれば、ソフトウェアをインストールする前に、IBM Support Web サイトで示された現行レベルにそれらを更新します (詳しくは 20 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の取得』を参照)。

注: ご使用の HBA の BIOS およびデバイス・ドライバーは、必ず IBM Support Web サイトから直接入手してください。詳しくは、20 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の取得』を参照してください。

2. ホスト HBA からストレージ・サブシステム・コントローラーへのパスを管理するには、マルチパス・ドライバーをインストールします。詳しくは、「*IBM System Storage DS[®] ストレージ・マネージャーバージョン 10 インストールおよびホスト・サポートのガイド*」を参照してください。

ストレージ・サブシステムのディスカバーとセットアップ

ストレージ・サブシステムをディスカバーおよびセットアップするには、以下の手順を実行します。

1. 管理ステーションからストレージ・マネージャー・ソフトウェアを開始します。「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウと「Confirm Initial Automatic Discovery (初期自動ディスカバリーの確認)」ウィンドウが開きます。
2. ストレージ・サブシステムをディスカバーするには「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウから「Automatic Discovery (自動ディスカバリー)」を選択します。初期自動ディスカバリーが完了すると、「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウに、ローカル・サブネットワークに接続するすべてのホストとストレージ・サブシステムが表示されます。

注: ローカル・サブネットワークの外部のストレージ・サブシステムをディスカバーするには、「Edit (編集) > Add Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの追加)」をクリックし、手動でストレージ・サブシステム・コントローラー管理ポートの IP アドレスまたはリモート・ホストの IP アドレスを入力します。

3. 「Rename the Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの名前変更)」をクリックします。サブシステム名の先頭部分に DS3500 のシリアル番号を使用してください。ホスト名は最大は 30 文字を使用します。
4. 「Locate the Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの検出)」をクリックします。選択したストレージ・サブシステム前面で青色の LED が明滅します。該当のストレージ・サブシステムに、その関連付けられた名前のラベルを付けます。
5. 目的のストレージ・サブシステムを強調表示し、「Tools (ツール) > Manage Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの管理)」とクリックして、「Manage Storage Subsystem (サブシステムの管理)」ウィンドウと「Task Assistant (タスク・アシスタント)」を開きます。
6. ストレージ・サブシステムが「Optimal (最適)」状態でない場合、「Task Assistant (タスク・アシスタント)」で「Recover from Failure (障害からのリカバリー)」アイコンをクリックします。「Recovery Guru (リカバリー・グル)」で、次の手順を実行します。ストレージ・サブシステムが「Optimal (最適)」状態の場合、「Task Assistant (タスク・アシスタント)」を閉じます。
7. 「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「Storage Subsystem (ストレージ・サブシステム) > View (表示) > Profile (プロファイル)」とクリックします。「Controller Firmware (コントローラー・ファームウェア)」、「NVS RAM」、「ESM Firmware (ESM ファームウェア)」、「Drive Product ID (ドライブの製品 ID)」および「Firmware Versions (ファームウェアのバージョン)」タブをクリックし、将来使用するために、それぞれの番号を次の表に書き込んでください。

コントローラー・ファームウェア:

NVS RAM:

ESM ファームウェア:

ドライブの製品 ID:

ファームウェアのバージョン:

8. 将来使用するために、プロファイルを保存し、プロファイル・ウィンドウを閉じます。

注: ストレージ・サブシステムの構成変更を行った場合は、ストレージ・サブシステムのプロファイルおよび「Collect All Support Data (すべてのサポート・データの収集)」のコピーを一括して保存します。

IBM Support Web サイトからの情報の取得

この「クイック・スタート・ガイド」に記載されている IBM System Storage の資料、およびその他の IBM System Storage 情報は、IBM Support Web サイトにあります。IBM Support Web サイトから最新の資料、ダウンロード、およびその他の技術的な更新情報にアクセスするには、以下の手順を実行します。

注: IBM Web サイトは定期的に変更されます。ファームウェアおよび資料の検索手順は、本書の記載とは異なる場合があります。

1. <http://www.ibm.com/systems/storage/support/> にアクセスします。
2. 「**Select your product (製品の選択)**」の下の「**Product Family (製品ファミリー)**」フィールドで、「**Disk systems (ディスク・システム)**」をクリックします。
3. 「**Product (製品)**」フィールドで、該当する製品名をクリックし、「**Go (実行)**」をクリックします。
4. 「**Support & downloads (サポートとダウンロード)**」の下で、該当するサポート・カテゴリーをクリックします。

注: デバイス・ドライバーおよびファームウェア・バージョンの詳細については、それぞれのパッケージに記載されている README ファイルを必ずお読みください。

ストレージ・サブシステム・ファームウェアの更新

注: 18 ページの『ソフトウェアのインストール』のステップをすべて完了すれば、ストレージ・マネージャーのホスト・コード、HBA BIOS、およびデバイス・ドライバーは最新の状態になります。

「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「**Advanced (拡張) > Maintenance (メンテナンス) > Download (ダウンロード)**」とクリックします。次のオプションをリスト順に選択します。

1. コントローラー・ファームウェア
2. コントローラー NVSRAM
3. ESM ファームウェア
4. ドライブ・ファームウェア

ストレージ・サブシステムの構成

「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「**View (表示) > Task Assistant (タスク・アシスタント)**」とクリックします。ストレージ・サブシステムが「Optimal (最適)」の場合、次のタスクをリスト順に実行します。

1. ストレージ・サブシステムでの問題のアラート通知を構成
2. ホストの定義
3. 新規ストレージ区画の作成
4. 構成の保存
5. パスワードの設定/変更

本書は、IBM System Storage DS3500 および EXP3500 Storage Subsystem コントローラー・ファームウェア・バージョン 7.70 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

Printed in Japan

IBM および System Storage は、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

© Copyright IBM Corporation 2010, 2013.

SA88-7204-00

